



ニ フ ト コ

接骨木

2023年
Vol.10

第32回日整全国少年柔道大会千葉大会

第13回日整全国少年柔道形競技会千葉競技会



熱戦の選手



投の形



表彰式に集合

(特集) 千葉県少年柔道大会報告..... 2

第32回 日整全国少年柔道大会千葉大会

第13回 日整全国少年柔道形競技会千葉競技会

第13回 日整全国少年柔道大会 全国第3位...3

健康サポート.....4

令和5年度 学術講演会・研究発表会

公益活動

第44回九都縣市合同防災訓練.....5

告知板・編集後記..... 6

第32回 日整全国少年柔道大会千葉大会 第13回 日整全国少年柔道形競技会千葉競技会

令和5年7月17日（月）例年になく猛暑の中、千葉県スポーツセンター武道館において毎年恒例の標記の大会が開催されました。

本年も昨年同様コロナ禍で、選手数を絞る為団体戦は行わず個人戦と形競技会のみが行われました。昨年制限されたギャラリーは制限を緩和し、試合中も声出し応援OKで選手のモチベーションも高まり熱戦が展開されました。個人戦では選手それぞれ日ごろの厳しい稽古で培った力を十分に発揮、白熱した試合が展開され各学年の順位が決定し、4年生優勝選手、5年生及び6年生は優勝・準優勝選手が全国大会代表選手に選ばれました。形競技会では選手たちが見守る静寂の中素晴らしい「投げの型」を演武、流山柔道会の選手が優勝し代表選手に選ばれました。

表 彰 者

個人戦四年生の部

優 勝	麻生 拓真 (明伸館関本道場)
準優勝	服部藍之丞 (錬心館岡野道場)

個人戦五年生の部

優 勝	齋藤 悠月 (山武柔道西塾)
準優勝	小川 恵舞 (習志野柔道クラブ)

個人戦六年生の部

優 勝	稲村 波瑠 (明心館関本道場)
準優勝	並木 力 (山武柔道西塾)

形競技会

優 勝	取) 鈴木 莉代 (受) 役田 伍泉 (流山柔道会)
-----	-------------------------------



日整全国大会 千葉県代表選手



日整全国形競技 千葉県代表選手



試合開始！



見事



閉会式 表彰者集合

第32回日整全国少年柔道大会 全国第3位

平成5年11月19日（日）講道館で行われた全国大会の少年柔道大会では、健闘し見事三位に入賞、習志野柔道クラブの小川恵舞選手が優秀選手に選ばれました。



監督を囲んで



対戦開始



選手整列



第3位入賞

令和5年10月15日、千葉県柔道整復師会館にて学術講演会と学術研究発表会が開催されました。学術講演会は日本柔道整復師会災害対策室 日本柔整災害協議会副代表の森 倫範先生に「海外自然災害現場から見た柔道整復師の未来」という演題で講演していただきました。

JDRという組織と、トルコ・シリアでおきた地震災害現場でのJDRの活動内容。その中で柔道整復師である森先生がどのような立ち位置で、どのような活動をしてきたのか、そして日本国内で柔道整復師は災害時にどのような事が出来るのかという内容でした。

森先生の講演後、大災害時に我々柔道整復師は医療従事者の一員として、何が出来るのだろうかと改めて考えさせられました。現在千葉県柔道整復師会内では54市町村中16市と災害時の締結がされています。しかし、地方自治体側からすると我々柔道整復師がどのようなポテンシャルを持ち、どのような医療貢献が出来るのか未知数の様です。今後来るであろう大災害に備え、我々柔道整復師が医療スタッフとして地方自治体に協力できるような地盤を作るべきだと再認識しました。

学術研究発表では石橋 翔太会員の「エコー画像と身体所見から考察する学童期の投球における肘障害リスクについて」、平山 進会員の「柔整軽擦法とテンセグリティ理論を用いた身体柔軟性改善について」、日下部 晃康会員の「腱板断裂に対しての後療法によって寛解した一例と考察」が発表されました。どの発表もしっかりと研究されていて、とても興味深いものでした。忙しい日常診療の合間を縫って、研究をし、資料をまとめ、論文を作成するのはとても大変な作業です。今回発表してくださった3人の先生方に改めて御礼申し上げます。

今回、初めて裏方として参加した学術講習会、学術研究発表会。非常に実り多き一日でした。次回は今回参加されなかった先生方もぜひ参加していただきたいと思います。



〔講演する森先生〕



〔北総支部 石橋翔太先生〕



〔南総支部 平山 進先生〕



〔東部支部 日下部晃康先生〕



〔森先生による講演〕



〔森先生を囲んで〕

防災活動

第44回（令和5年度）九都県市合同防災訓練

九都県市合同防災訓練とは埼玉県・東京都・神奈川県・横浜市・川崎市・さいたま市・相模原市と千葉県・千葉市が互いに連携・協力して実施する防災訓練です。

令和5年9月2日（土）首都圏の九都県市（埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・横浜市・川崎市・千葉市・さいたま市・相模原市）と国が連携し、市民や行政、防災関係機関が連携し、訓練を通じて災害対応能力を高めるため、毎年実施している。今年度は我孫子市直下を震源とする震度6強の大地震が発生したことを想定し、我孫子市の川村学園女子大学グラウンドにおいて約100機関、5,000人の参加で大規模に行われ、公益事業の一環として毎年参加している本会は池畑副会長が来賓として、白土事業学術部長と柏我孫子支部員5名が応急救護所で、医師・看護師・DMATと協力し、搬送されてきた負傷者のトリアージ業務に適切に対応していました。

閉会式では熊谷千葉県知事が、「多くの参加者による大規模な訓練が出来たことは大変意義深い、災害に遭遇した際には、自らの命は自らが守るという意識を持つことが重要」と講評されました。



〔訓練に参加する柏我孫子支部会員〕



〔参加した本会会員〕



〔救護所訓練〕



〔救護所訓練〕

告知板

千葉県柔道整復師会柏我孫子支部は社会福祉協議会へ車椅子を贈呈しました。



〔柏我孫子支部〕



千葉県柔道整復師会ではホームページ（トピックス）で様々なお知らせをしています。

<http://www.chibajyusei.or.jp/>

編集後記

野球界では、大谷翔平選手のホームラン王・MVP。将棋界では藤井聡太棋士の八冠。

どちらもここ一番での「集中力・判断力」この「集中力・判断力」は、大谷選手や、藤井八段に限ったことではなく、少年柔道大会などのスポーツでは毎日の練習や稽古で養われるものであり、「試合・大会」で発揮されます。防災などは災害を想定した日ごろの訓練により、実際の災害時に発揮されるものであります。この「集中力・判断力」は今後、いつどこで起きるかわからない自然災害など、人生のあらゆる場面で共通しているのかもしれない。

高木 浩一

にわとこ Vol.10

2024年1月1日

発行者

公益社団法人 千葉県柔道整復師会

千葉市中央区末広3-21-6

電話043 (265) 0356

会長 木村 光雄

編集責任者

総務部長 高木 浩一